

研究課題名	新型コロナウイルス感染症における肝・胆・膵臓器障害の病態と予後に関する調査
研究の意義・目的	新型コロナウイルス感染症はこれまで経験したことがない病気です。そこで新型コロナウイルスに感染した時に肝臓・胆道・膵臓にどのような障害が起こるのかを調べ、より良い治療法を確立させます。また肝臓・胆道・膵臓に持病のある患者さんが新型コロナウイルスに感染した時の病状の変化も調べます。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～2023年3月末まで
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2020年1月～2022年12月に大阪市立大学医学部附属病院へ、新型コロナウイルス感染症の治療のため入院された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、検査データ、CT画像、治療内容、予後】 診療のため実施した採血の残余血液
試料・情報の他機関への提供	共同研究機関 大阪市立総合医療センター、大阪市立十三市民病院から情報の提供を受けて研究を実施します。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は下記の共同研究機関と共に行います。 大阪市立総合医療センター 木岡清英 大阪市立十三市民病院 倉井 修
試料・情報を管理する責任者	代表研究機関 大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 研究代表者 田守 昭博
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 (担当者氏名) 田守 昭博 電話番号：(06) 6645-3905 メールアドレス：shoukaki-lbp@med.osaka-cu.ac.jp